

7月の 園便り



ライオンとネズミ

29年 新潟青陵幼稚園 加藤 由美子

「蛍獲し 子に蛍かと 問うて寄る」 山口誓子

子どもが蛍を捕まえたのは分かってはいるのですが、あえて「蛍？」と聞いて、子どもとかかわろうとしている大人の姿を詠んでいます。（たぶんご自身だと思うのですが）私はこの俳句を読んで、山口さんという人は、“子どもに寄り添う”ことができる大人なのだろうと思いました。山口さんが「蛍？」と聞いてコミュニケーションをとっていますが、このかかわり方は、子どもの自発性が育ちますね。

「すごいな」とおだてたり「蛍はね、ヘイケボタルとゲンジボタルがいてね…」と教えてあげようとするのではなく「蛍かい？」と言いながら寄り添っていくと、子どもは自分から話し出すのではないかと思います、推測ですが、子どもたちは、山口さんにどうすれば捕まえられるかと教えてあげたり、手の中の蛍を、そっと手を開いて見せてあげたりしたのではないかと思います、山口さんの言葉が、子どもたちの自発性を発揮させるものですから、子どもたちの反応も違ってきます。

大人はどうしても子どもにものごとを教えたがって、知識を語りたくなるものですが、でも、それは子どもの自発性を抑えてしまうことになります。

大人はこんなとき、子どもの思いに共感する言葉を言えたらいいですね。「蛍かい？」という言葉には「蛍いいね」「蛍はきれいだよね」など、蛍を捕まえた子どもに共感する意味も含まれているように思えます。少ない言葉で共感してくれる大人がそばにいたら子どもたちは幸せだなと思います。子どもたちが育つ時に、子どもの立場に立って共感し、寄り添ってくれる大人の存在が必要です…どんな言葉を使って寄り添うか、どんな言葉を使って共感するか、言葉を選んで使いたいですね。普段、何気なく使っている言葉ですが、無意識に使っている言葉を意識化して、子どもたちにどんな風に影響していくのか考えていきたいものです。

この俳句を読んで“余計な言葉をそぎ落として、言葉を簡潔にすることの大切さ”に気づかせてもらった思いがします。日常の何気ない言葉や何気ない行動に視点をあてて、俳句を詠む山口誓子という方の鋭い感性に心を動かされます。

私たちも自分の感性を育て、子どもの立場に立って共感しつつ寄り添うことができる大人になれたらいいですね。

ちなみに、山口誓子さんの俳句をもう一つ

「泳ぎより 歩行に移る その境」・・・砂浜めざして泳いできて、足が着くくらいになるとふっと立って歩く、その瞬間を詠んでいるのですが、人間が無意識にやっていることを捉えていて面白いです。

7月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	土	/	/	第2土曜日	振替休日
2	日	/	/		
3	月	○	2:00		
4	火	○	2:00		
5	水	×	11:30	誕生会、7月生まれさんの保護者の方、	ご一緒にお祝いしましょう。
6	木	○	2:00	白ばら1組青ばら1組さんはマリ	ンピアに出かけます。
7	金	○	2:00	白ばら2組青ばら2組さんはマリ	ンピアに出かけます。
8	土	/	/	子育て講座（在園児以外の方）	
9	日	/	/		
10	月	○	2:00		
11	火	○	2:00		
12	水	×	11:30	誕生会、8月生まれさんの保護者の方、	ご一緒にお祝いしましょう。
13	木	○	2:00		
14	金	○	2:00		
15	土	×	11:30	自由登園日	
16	日	/			
17	月	/	/	海の日	
18	火	○	2:00		
19	水	○	2:00		
20	木	○	2:00		
21	金	○	2:00	本日、給食最終です。	
22	土	/	/	第4土曜日	
23	日	/	/		
24	月	×	11:30	第2学期終業式を行います。	
25	火			青ばらさんの夏のお楽しみ会です。	赤ばら白ばらさんは夏休みです。
26	水	/	/	お仕事の方は「星の子」を	ご利用ください。
27	木	/	/		
28	金	/	/		
29	土	/	/	卒園児さんの同窓会が行われ	ます。
30	日	/	/		
31	月	/	/		